

計画事業番号	00376	事務事業名	幼保小連携推進事業	担当部署	教育部小中一貫教育課	電話	4832
--------	-------	-------	-----------	------	------------	----	------

【基本情報】

事務区分	■自治事務 □法定受託事務		根拠法令等	北広島市幼児教育の連携に関する懇話会開催要綱			
事務事業開始年度	平成27年度		個別計画等	北広島市教育基本計画及び推進計画			
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	単独	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 2 章) 人と文化を育むまち	
	(第 1 節) 「生きる力」を育む学校教育の推進	
	(施策 1) 幼児教育の振興・充実	
2 対象	市内幼稚園、保育園、小学校	
3 目的と内容	乳幼児期の子どもたちの健やかな成長を保障し、幼稚園や保育園の教育・保育環境から小学校の学習・生活環境への円滑な接続を行うため、交流会や研修会を継続的に実施し、幼稚園・保育園・小学校それぞれの担当者間・子ども同士・保護者間の共通理解や連携を深め、就学前教育・保育と小学校教育の連続性と「学びの芽生え」「自覚的な学び」の育成を図る。 【前回推進計画からの変更点】 変更なし	
4 実施内容(手段)	28年度まで	平成23年度に、市内幼稚園の園長2名、市内保育園の園長2名(公立1・私立1)、市内小学校の校長2名、市長部局の職員1名からなる「北広島市幼児教育の連携に関する懇話会」を設置し、幼児教育の推進策や幼稚園・保育園及び小学校の連携の在り方について検討。その後、懇話会での意見交換を参考に、幼稚園や保育所から小学校への円滑な接続をはかるための総合的な行動計画として「北広島市幼児教育連携アクションプラン」を策定し、アクションプランに基づき、幼保小連携の意識を高めるため、市内幼稚園、保育園、小学校教諭を対象とした研修会を開催し、また、子どもの状況や指導の経過について話し合い、教育内容についての連携を深め、互いに理解し合う機会として市内幼稚園・保育園・小学校教諭が一堂に会する交流会を開催
	29年度	「北広島市幼児教育連携アクションプラン」に基づき、北広島市幼児教育の連携に関する懇話会を開催し、幼保小連携に関する研修会、校園種間交流、保護者間交流等を実施。来年度以降のアクションプラン策定の可否等を検討

【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画
懇話会の開催 幼保小連携に関する講演会・研修会(教員間交流・研修) キャリア教育的交流 異学年交流 保護者間交流 情報交換会	懇話会の開催 入学後交流会 保育園参観研修 小学校教諭と年長児保護者の交流 入学前交流会	懇話会の開催 幼保小連携に関する講演会・研修会(教員間交流・研修) キャリア教育的交流 異学年交流 保護者間交流 情報交換会	懇話会の開催 幼保小連携に関する講演会・研修会(教員間交流・研修) キャリア教育的交流 異学年交流 保護者間交流 情報交換会	懇話会の開催 幼保小連携に関する講演会・研修会(教員間交流・研修) キャリア教育的交流 異学年交流 保護者間交流 情報交換会	懇話会の開催 幼保小連携に関する講演会・研修会(教員間交流・研修) キャリア教育的交流 異学年交流 保護者間交流 情報交換会	懇話会の開催 幼保小連携に関する講演会・研修会(教員間交流・研修) キャリア教育的交流 異学年交流 保護者間交流 情報交換会	懇話会の開催 幼保小連携に関する講演会・研修会(教員間交流・研修) キャリア教育的交流 異学年交流 保護者間交流 情報交換会

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性		評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。		「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
1次評価	現状継続	幼稚園・保育園と小学校の相互連携により、幼児教育の振興と学校教育への円滑な移行を図るため、アクションプランに基づき継続して各種事業を行っていく。		
2次評価	現状継続	現状継続とする。		

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			16		100		110		110	
事業額	直接事業費	国支出金	0		0		0		0	
		道支出金	0		0		0		0	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	0		0		0		0	
		一般財源	16		100		110		110	
	① 合計	16		100		110		110		
人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	
	③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	
	④ =②×③	8,400	0	8,400	0	8,400	0	8,400	0	
総事業費①+④			8,416		8,500		8,510		8,510	

【評価指標】

指標名			単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	① 幼児教育の連携に関する懇話会開催回数	目標値	回	3	3		
		実績値		3			
	② 幼保小の連携に関する研修会開催回数	目標値	回	1	1		
		実績値		1			
③ 校種間交流開催回数	目標値	回	2	2			
	実績値		2				
④	目標値			1			
	実績値						
成果指標	①	目標値					
	【指標の定義(算式等)】	実績値					
	②	目標値					
【指標の定義(算式等)】	実績値						
③	目標値						
【指標の定義(算式等)】	実績値						

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	幼児教育の振興を図り、学校教育をさらに充実させていくために必要な事業である。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	懇話会において策定したアクションプランに基づき、教職員相互の交流、情報交換を行い計画的に実施している。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	アクションプランが平成29年度で終了するため、新たなプラン策定の要否等を含めた検討をしていく必要がある。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	懇話会の開催経費など必要最小限の経費で実施している。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	------------------------------------	---

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。 <input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	--